

令和7年3月定例会 提案説明要旨

(はじめに)

関西広域連合議会令和7年3月定例会の開会に当たり、議員の皆様にご敬意と感謝を申し上げます。

今年は、阪神・淡路大震災から30年の節目です。去る1月17日に神戸で執り行われた追悼式典には、天皇皇后両陛下がご出席されました。天皇陛下は、犠牲者に哀悼の意を示されるとともに「震災の経験と教訓を基に、皆が助け合いながら、安全で安心して暮らせる地域づくりが進められるとともに、そこで得られた知見が国の内外に広がり、次の世代へと引き継がれていくことを期待いたします」とのお言葉を述べられました。

阪神・淡路大震災以降も全国で頻発する自然災害に対応し、関西広域連合は、カウンターパート方式をはじめとする被災地支援等を通じ、防災・減災に関する知見を高め、実績を積み重ねてきました。今後30年以内の発生確率が「80パーセント程度」に引き上げられた南海トラフ地震をはじめ、近い将来に発生が予想される大規模広域災害への備えを一層推進してまいります。

1月22日には、防災庁の創設と西日本拠点の関西への設置を国に要望してまいりました。今後も、国難レベルの災害に対する国全体の防災体制の強靱化等とあわせ、国に対し強く訴えてまいります。

さて、大阪・関西万博の開幕まで、あと43日となりました。

一昨年10月の起工式から、約1年半にわたり準備を進めてきた関西パビリオンは、展示の総仕上げを経て、いよいよ完成を迎えます。議員各位をはじめ、関係する皆様の御協力に改めて感謝を申し上げます。

開幕直前の今月23日には、完成した関西パビリオンの姿を皆様にお披露目させていただく機会を設ける予定です。

開幕後は、一人でも多くの方々が来場され、関西の多様な魅力に触れていただけるよう、今後も機運醸成、積極的な情報発信に努めてまいります。万博の成功に向け、引き続き御指導、御協力をよろしくお願いいたします。

(提案説明)

1 令和7年度当初予算

総括

これより、提出した議案について説明します。

第1号議案「令和7年度関西広域連合一般会計予算の件」です。令和7年度が最終年度となる「第5期広域計画」の取組の総仕上げを行うための予算として、歳入、歳出ともに予算総額は38億1,145万5千円で、対前年度比8億2,922万4千円、17.9パーセント減とします。

(1) 各分野及び本部事務局の取組

① 広域環境保全

次に、各分野事務局及び本部事務局の取組を各担当委員から順次説明します。

まず、私が担当する広域環境保全分野について説明します。

広域環境保全分野では、4,981万2千円を計上しています。令和5年度からの3年間を計画期間とする「関西広域環境保全計画（第4期）」に基づき、新たな課題も見据え、現行の4つの分野で事業を推進します。その中で、令和7年度は、大阪・関西万博会場において環境保全意識向上のための取組も実施予定です。

「脱炭素社会づくりの推進」では、脱炭素社会の実現に向けた行動を主体的に行う機運を関西全体で醸成するため、「関西脱炭素フォーラム」を開催する等、温室効果ガス排出量の削減に向けた取組を展開します。

「自然共生型社会づくりの推進」では、生物多様性の保全とその持続可能な活用に向けた情報発信のほか、関西各地で被害を及ぼすカワウやニホンジカ等への対策が効率的・効果的に進むよう、調査等を実施します。

「循環型社会づくりの推進」では、廃棄物の発生抑制を図るとともに、ごみを出さないライフスタイルへの転換を促すため、万博会場において、アップサイクル商品の展示販売会・リメイクファッションショーの実施等を予定しています。

「持続可能な社会を担う人育ての推進」では、地域特性を活かした交流型環境学習や、若者参画による環境学習プログラム等の実施により、環境人材の育成に積極的に取り組んでまいります。

② 資格試験・免許等

資格試験・免許等については、調理師・製菓衛生師、准看護師、毒物劇物取扱者及び登録販売者の資格試験等の事務を、安定的かつ効率的に実施するため、資格試験・免許費として3億2,203万5千円を計上しています。

③ 本部事務局

本部事務局での企画調整及び管理運営に関する取組については、企画管理費等として4億5,180万3千円を計上しています。また、関西パビリオン設置運営費として9億7,978万4千円を計上しています。主なものを説明します。

〔広域計画等の推進〕

広域計画等の推進については、現行の第5期広域計画を着実に進めるとともに、第6期広域計画の策定に取り組んでまいります。

関西が抱える中長期の課題に対応するため、令和8年度から始まる次期広域計画は、これまで3年間であった計画期間を、5年間へと見直します。今後、広域計画等推進委員会や構成府県市等から幅広く意見を聴きながら、広域行政を担う責任主体としてふさわしい計画となるよう、検討を進めてまいります。

〔広域的な流域対策の検討〕

広域的な流域対策の検討については、令和5年9月に立ち上げた「いのち育む“水”のつながりプロジェクト」の取組として、琵琶湖・淀川流域における様々な水のつながりを感じていただくため、関西パビリオンの多目的エリアにおいて催事を実施します。また、引き続き、流域の課題等に関する調査研究や、シンポジウムによる情報発信を実施し、流域に関わる全ての人と、現状及び課題を共有することで、水を守るために連携・協働する社会の形成を目指してまいります。

〔女性活躍の推進〕

女性活躍の推進については、「働きたい・働く女性が最も活躍できる地域・関西」の実現に向け、女性活躍推進の機運を醸成し、理解を促進するために、大阪・関西万博の機会を活用して、ウーマンズパビリオンと連携し、催事を実施します。催事では、関西での取組を発信するとともに、様々な分野で活躍する方々の議論等を通じて、来場者自身が考えるきっかけを創出し、関西における女性活躍の更なる推進に取り組んでまいります。

〔関西パビリオン等〕

大阪・関西万博に出展する関西パビリオンについては、開幕に向けた

準備の最終段階に入っています。会期中、関西各地へのゲートウェイとしての役割をいかに発揮できるよう、安全安心な施設運営やおもてなしに注力してまいります。あわせて、博覧会協会や参加府県等と連携し、多目的エリアをはじめとする会場内での催事の実施、WEBパビリオンの運用などにも取り組んでまいります。

【広域連携による行財政改革の推進】

令和7年度から奈良県が新たに担当する「広域連携による行財政改革の推進」については、「広域での処理が効率的かつ効果的となる新たな事務」の検討や「既存の事務、事業の見直し」に取り組めます。構成府県市の限られた行財政資源を最大限活用して住民サービスの向上が図られるよう、事務の合理化や事業のスクラップ・アンド・ビルドを積極的に推進します。また、新たな事務の検討に当たっては、その必要性や課題等について、十分に調査・検討し、進めてまいります。

2 令和6年度補正予算

第2号議案は、「令和6年度関西広域連合一般会計補正予算（第2号）の件」です。歳入、歳出ともに1億308万8千円を減額し、予算総額を45億7,451万8千円とします。

3 条例改正

第3号議案は、「関西広域連合会計年度任用職員の給与及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定の件」です。

国家公務員の給与に関する人事院勧告及び構成府県市の人事委員会勧告を踏まえ、会計年度任用職員に係る給料月額を改定する等、所要の改正を行います。

第4号議案は、「刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定の件」です。刑法等の一部を改正する法律の施行により、懲役及び禁錮が廃止され、拘禁刑が創設されることに伴い、必要な規定の整理を行うため、関西広域連合情報公開条例ほか4条例について、所要の改正を行います。

4 公平委員会の事務委託

第5号議案及び第6号議案は、「関西広域連合公平委員会に係る事務委託の件」等2件です。

関西広域連合の公平委員会の事務について、令和5年度から実施していた兵庫県への委託を廃止し、新たに令和7年度から2年間、京都市に委託する協議を行うことについて、議決を求めるものです。

5 分野別計画の変更

〔関西防災・減災プランの変更〕

第7号議案は、「関西防災・減災プラン変更の件」です。

構成団体を対象とした能登半島地震支援を踏まえたアンケート結果や、令和6年6月に修正された国の防災基本計画等を踏まえて、「関西防災・減災プラン（総則編、地震・津波災害対策編）」を改訂し、関西全体の安全・安心の向上を目指します。

〔関西観光・文化振興計画の変更〕

第8号議案は、「関西観光・文化振興計画変更の件」です。

大阪・関西万博を一過性のイベントに終わらせることなく、新たなステージに向けた成長の好機と捉え、観光と文化が互いを更に高め合い、関西が一丸となって観光振興及び文化振興を推進するため、第3期計画を策定します。

1 令和7年度当初予算

（2）各分野及び本部事務局の取組

④ 広域防災

広域防災分野について説明します。

南海トラフ巨大地震をはじめとする大規模広域災害等への対策を推進するために、広域防災費として2,249万3千円を計上しています。

このうち、関西防災・減災プランの推進では、今年度末に予定されている国による南海トラフ地震被害想定の見直し等を踏まえ、「地震・津波災害対策編」の改訂を今年度に引き続き実施します。

また、各構成府県市が本年度策定した新型インフルエンザ等対策行動計画を踏まえ、「感染症対策編」の改訂も行います。

広域応援訓練の実施では、広域連合・構成団体・民間事業者が参加する物資支援を主体とする訓練を行うとともに、訓練の結果等を踏まえた各種マニュアルの改訂を行います。

防災庁創設に向けては、国の検討に合わせた提言などの活動とともに、

「防災庁」の設置に向けた国民的な理解を広め、大規模広域災害に対する意識を高めるため、啓発活動に使用する動画を作成するとともに、防災イベントや訓練に参加し、パネル展示や動画放映、学識者によるセミナー等の啓発活動を実施します。

⑤ 広域スポーツ振興

広域スポーツ振興分野について説明します。

令和4年3月に策定した第2期関西広域スポーツ振興ビジョンに基づき、構成府県市が連携して、一体的な取組を推進するため、広域スポーツ振興費として、2,631万1千円を計上しています。

大阪・関西万博では、感動や学びのあるステージパフォーマンスやアスリートによるトークセッション、子どもから大人まで気軽にスポーツを体験できるマルチスポーツイベントを10月に開催します。

また、令和9年5月に開催される「ワールドマスターズゲームズ2027 関西」に向け、誰でも参加できる生涯スポーツ大会「関西マスターズゲームズ」の開催をとおして、生涯スポーツの機運を引き続き高めます。

さらに、障害の有無を問わず、全ての人々のライフステージに応じたスポーツ活動を支援するため、障害者スポーツ体験会やアスリート育成練習会を実施し、障害者スポーツの普及・理解促進にも取り組みます。

⑥ 広域観光・文化振興

このあと説明がありますジオパーク関連予算を含め、広域観光・文化振興費として、9,044万3千円を計上しています。

大阪・関西万博の開催を一過性のものとせず、持続可能な観光の実現と、新たな文化やビジネスモデルが創出され続けることを目指し、取組を進めてまいります。

まず「関西ブランドの向上」としては、テーマツーリズムの推進や海外観光プロモーション、一般財団法人関西観光本部と連携した観光プロモーションなどを進めるほか、万博会場内のイベントステージにおいて、関西広域周遊のPRや文化の理解を促進するイベントを開催します。

また、「基盤整備の推進」として、全国通訳案内士等を対象とした研修や、万博で関西へ来訪する観光客に向けた広域周遊観光情報の発信強化にも取り組んでまいります。

次に「関西文化の魅力発信」として、関西のアート市場の活性化やナイトタイムエコノミーの取組の拡大など、関西圏が国際的な芸術文化の一

大発信拠点となるよう、文化庁や経済界等と一緒に取り組んでいくこととしております。また、文化施設を巡るデジタルパスポートの参加施設の拡大や、万博の夢洲会場等を活用し関西の伝統芸能等の実演等による文化発信イベント「KANSAI (かんさい) 感祭(かんさい)」の開催などにも取り組み、関西の魅力を国内外へ幅広くPRし、関西への誘客促進につなげてまいります。

⑦ ジオパークの推進

ジオパークの推進について説明します。

昨年10月に日本ジオパークに認定された三好ジオパークが加わり、関西エリアには、山陰海岸ジオパーク、南紀熊野ジオパークと併せて3つのジオパークがあります。ジオパークは、人々を魅了する地形、地質の宝庫であり、魅力あふれる多彩な温泉、食、歴史、産業、アクティビティなどを満喫できるジオツーリズムは、訪日外国人にも人気があります。

大阪・関西万博は、約350万人の海外来場者が見込まれ、国内外に向けて関西のジオパークをアピールする絶好の機会であり、万博会場内でのパネル展示や映像上映のほか、会場と主要駅を結ぶ公共交通機関での広告掲載等により魅力を発信し、ジオパークエリアへの誘客を図ります。

⑧ 広域産業振興

広域産業振興分野について説明します。

「関西広域産業ビジョン」に基づき、万博のインパクトを十分に活かして関西経済の活性化に向けた事業を推進するため、6,274万3千円を計上しています。

まず「関西スタートアップ・エコシステムの推進」では、国や関係機関等と連携し、万博の会場内外で開催される大規模イベント等を活用して、関西のディープテックスタートアップの強みをPRすることで、国内外の投資家等の関西への呼び込みを図ります。

また、関西が高い産業ポテンシャルを有するライフサイエンスやグリーン分野において、大規模展示会への出展やフォーラムの開催等による発信と域内企業の支援を行います。

「関西の産業力強化を目的とした広域的プラットフォーム構築」では、域内の公設試や産業支援機関、大学などが連携し、域内企業へのシームレスな支援を実施してきた成果を踏まえ、国や経済界出身のコーディネーターによるサポートのもと、さらにイノベーションが生まれる環境創

出に向けた取組を深化させてまいります。

「大阪・関西万博での関西の魅力発信」では、万博会場において、複数のデザイナーとのコラボにより、域内の伝統工芸品の新たな可能性を見出す作品展示やトークセッション等を行うなど、国内外の多くの方や若者が関西のものづくり産業の魅力を体感できる機会を創出します。

さらに、万博で来訪するビジネスミッション団等が域内の企業や工場等を視察・周遊できるよう、産業視察先の情報をWEB等で発信し、関西の産業・技術力のPRや域内企業等の海外販路開拓に繋げていきます。

⑨ 広域農林水産振興

広域産業振興分野のうち、広域農林水産振興分野について説明します。

域内の農林水産業の振興を図るため、広域農林水産振興費として2,297万5千円を計上しています。

主な取組としては、大阪・関西万博において、関西の食文化を支える農林水産物の販売等を関係団体と一つになって展開することで、その魅力を国内外に幅広くPRします。

また、「おいしい！KANSAI応援企業」の社員食堂における産品販売イベントの開催や学校給食における府県域を越えた特産物の提供など、域内農林水産物の消費拡大を図るとともに、食品事業者と外食産業事業者等とのオンライン商談会を開催するなど、農林漁業者の販路拡大を支援します。

さらに、観光農園や農家レストランなどの交流施設を巡るデジタルスタンプラリーを継続し、農山漁村への誘客促進を図ってまいります。

⑩ 広域職員研修

広域職員研修分野について説明します。

広域職員研修費として、379万3千円を計上しています。

構成団体の職員が“関西”という幅広い視野で広域課題に取り組む能力を身に付けるとともに、職員同士の人的ネットワークの構築が図られるよう、政策形成能力研修の実施や各構成団体が独自に開催する研修への相互参加を推進します。その他、WEB型研修により、受講機会の拡大に努めてまいります。

⑪ 広域医療

広域医療分野について説明します。

「関西広域医療連携計画」に基づき、構成府県市の医療連携を進める

ため、広域医療費として17億7,926万3千円を計上しています。

まず、ドクターヘリについては、引き続き、安全な運航管理・整備体制の確保に全力で取り組むとともに、管内8機のドクターヘリを効果的に運用することで、広域救急医療体制の充実を図ってまいります。

また、災害時の広域医療体制の強化を図るため、災害医療コーディネーターやD P A T・D H E A T等の人材養成や、「広域災害救急医療情報システム」の入力訓練を共同で実施します。

さらに、「新興・再興感染症」や「依存症対策」など、医療を取り巻く喫緊の課題に的確に対応していくため、専門家を交えた合同研修会や事例共有などの取組を通じて、構成府県市の連携を推進していきます。

こうした取組により、「安全・安心の“4次医療圏・関西”」の実現に取り組んでまいります。